

第 17 回日本食海外普及功労者表彰 受賞スピーチ

九本 和

ただ今御紹介いただきました、メキシコから参りました九本和です。

私は 1969 年末に夫の駐在で 2 年間の予定でメキシコに渡りました。それ以来、今年で 54 年になります。

永住の決意をしたのは随分昔ですが、1995 年より日本食料理店を経営しておりました、今、コロナのときに 2 軒閉店しましたのでケタロシティの 1 軒とメキシコシティの 30 年前から同じ地区に開いております店の 2 軒を経営しております。

30 年近くたった今、まだまだの感じがしない訳ではありませんが、当時を振り返りますと日本食というものが非常に世界的にもブームになりまして、特にメキシコではお寿司が日本食の代表というような感じでとても広がりました、それ以来集客ということにはあまり苦労しませんでしたけれども、食材に大変難しいところがありました。

ただ、今年、何十年もたった後ですけれども、日本米が輸入できることになりましたので、それは非常に私としてはこだわりのお米がメキシコに入ってくるということは喜ばしく思っております。ただメキシコシティと私がもう 1 軒お店を出しているケタロシティは標高が高いので、日本と同じような作り方では日本の米の良さをそのままお伝えすることができません。それを非常に研究しながら、それでも日本米のクオリティの高さでカバーしていただいて、皆さんに大変喜んでいただいております。

これからもおいしい日本食を多国籍のお客様達にお勧めして楽しんでいただいて、食文化が人をつなぐということを目標に頑張っていきたいと思っております。どうもありがとうございました。